

日本の道路標識技術を、祖国に持ち帰ります！

アフリカの道路行政官が広島所在のリーディングカンパニーを視察

国際協力機構(JICA)では、発展途上国の道路行政官を対象とした課題別研修「都市内道路整備(B)」で、品質の高い日本の道路標識技術を視察するため、10月3日に(株)日本パーカーライジング広島工場を視察します。同社は日本国内の標識設置基準に準拠した高い品質を持つ会社であり、視認性の優れた道路標識製作をしています。途上国では道路標識の未整備が交通事故の一因となっており、今回、同社での道路標識製作工場の視察や区画線の設置、実演に加え、同社が製作している道路標識のミニチュア製作体験を通して、日本の優れた道路標識技術を祖国に持ち帰る予定です。是非、取材をご検討ください。

JICA 課題別研修「都市内道路整備(B)」では、ベナン・コンゴ民主共和国・エチオピア・ガンビア・モザンビーク・ナイジェリア・タンザニア・ウガンダ・ザンビア・ジンバブエのアフリカ 10 か国から計 10 名の道路行政官を招き、8月19日から10月12日までの二か月弱、日本の優れた道路技術を学び、参加各国の都市部における道路インフラ開発に伴う諸問題への対応能力向上を目指します。

取材可能な日程

10月3日 (木)	9:00~12:00 道路安全施設などの製作工場視察 於 (株)日本パーカーライジング広島工場 出島製作所 (広島市南区出島 1-34-26)
--------------	--



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



※

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 金塚 TEL 078-261-0383 e-mail : Kanazuka.Takumi@jica.go.jp	(株)日本パーカーライジング広島工場 セーフティファシリティーズ事業部 六箱 TEL 082-247-4220 e-mail : r-box@hiroshima-parker.co.jp
---	--

※国連採択 持続可能な開発目標(SDGs)「目標9」(レジリエントなインフラを整備し、包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る)への寄与が期待されます。